

平成14年度ホタテ貝採苗情報 (第2報)

平成14年4月19日
発行:岩手県水産技術センター
協力機関:沿岸地方振興局水産部

「ラーバが出現しています。」

1 ホタテガイ生殖腺指数の推移

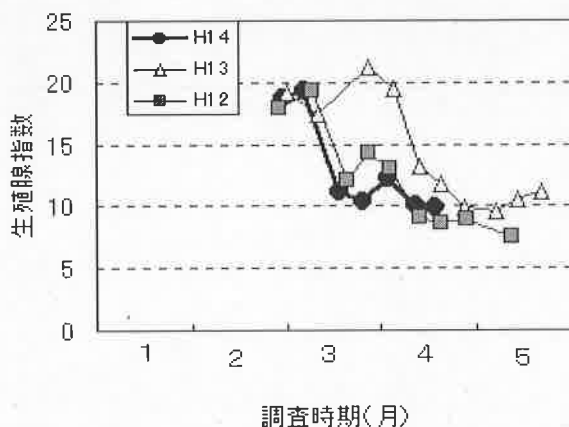
4月15日に唐丹湾で、4月18日に山田湾で生殖腺調査を行いました。
生殖腺指数の平均値は、山田湾で10%、唐丹湾で14%でした。山田湾では、既に産卵を終了している個体が多く見られました。
一方、唐丹湾では、産卵は一端停止している模様です。
◎生殖腺指数 = 生殖腺重量 / 軟体部重量 × 100

2 ラーバの出現状況

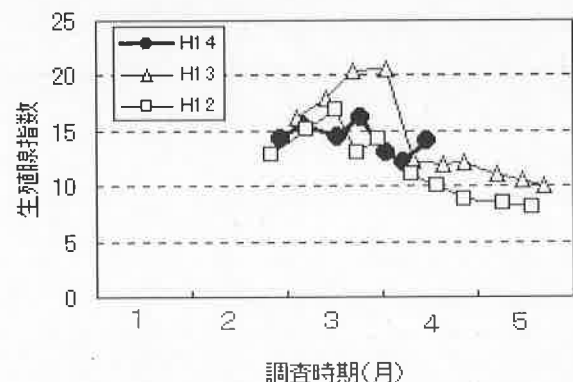
4月16日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。
ホタテガイラーバは、29個/トン確認されましたが、その殆どが200μm以下の小型のラーバで、付着間近の大型の個体は全く確認されませんでした。
なお、調査時の水深10m層の水温は8.3度で、平成9~13年の平均値より1度程度高めとなっています。

3 試験採苗器による付着稚貝調査

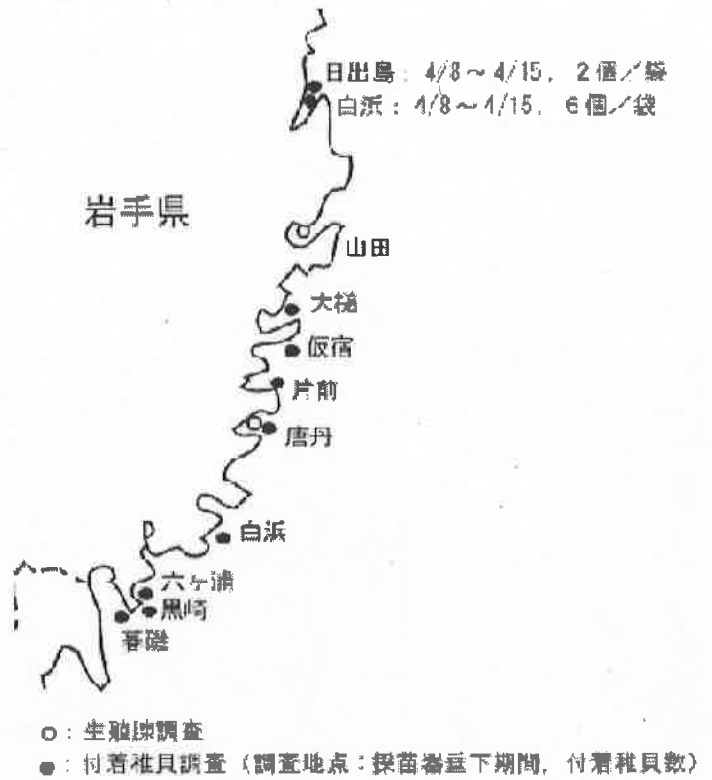
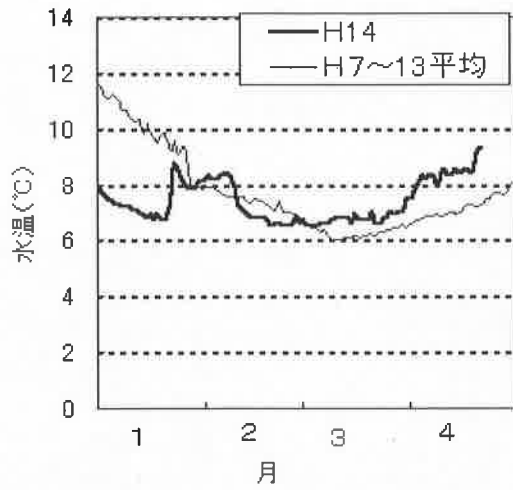
宮古漁協が実施した調査では、日出島漁場で2個/袋、白浜漁場で6個/袋の付着直後の稚貝が確認されています。今後の調査結果をお待ちください。
なお、当センターでは、4月16日、唐丹湾に試験採苗器を投入しました。今後、毎週試験採苗器を投入し、稚貝の付着状況を観察する予定です。
例年より、ホタテガイラーバの出現が早く、水温も高めに推移していることから、採苗器の投入適期が早くなる可能性があります。今後の情報には、十分に注意してください。
次報は、4月25日頃発行する予定です。



生殖腺指数の推移(山田湾)



生殖腺指数の推移(唐丹湾)



山田湾の水深10m層水温

調査地点